

国民の世論と運動で、「全世代型社会保障改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2024年7月31日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

「物価高騰で困っています」「生活保護を申請したい」

7.27 いのちと暮らしを守る なんでも相談会 77人から相談

7月27日(土) 10時~18時、全国的に「いのちと暮らしを守る なんでも相談会」が行われました。札幌では雇用くらしSOSネットワーク北海道や反貧困ネット北海道が相談会場を設け、弁護士、司法書士、社会福祉士、生活・労働・営業などの相談員が相談に応じました。

この日は、地元のテレビ放送局2社が取材し、昼の道内ニュースで報道してくれました。午後からは、テレビやラジオニュースでも全国放送されました。そのため、昼からは3台の電話がふさがり、受話器を置くとすぐ電話がなり、札幌会場では、77人から相談が寄せられました。他県での相談会場にも北海道からの相談がありました。相談者は女性や高齢の方が多く生活費の相談がたくさん寄せられました。



【主な相談内容】 **生活費問題 23件**、労働問題 9件、家庭問題 4件、債務問題 3件、住宅問題 2件、健康問題 1件、その他 33件(法律問題など)

【相談者の年齢】 30代 1人、40代 2人、50代 6人、60代 6人、70代以上 25人、不明

【相談者の性別】 女性 49人、男性 26人

【相談者の地域】 札幌市 32人、江別市 1人、小樽市 1人、旭川市 2人、稚内市 1人、留萌市 1人、富良野市 2人、比布町 1人、赤平市 1人、苫小牧市 1人、伊達市 1人、芦別市 1人、函館市 3人、帯広市 2人、幕別町 2人、音更町 1人、釧路市 2人、根室市 1人
道外 12人(宮城県 6人、福島県 3人、岩手県 2人、青森県 1件)

【生活費の相談内容】 「生活保護を申請したい」。生活保護利用者・年金生活者から「物価高騰で生活できない」など

●(73歳・1人暮らし) 年金額 10万円。仕事だけがをして3年前に退職した(蓄え 5万円)。家賃月 47600円。骨粗鬆症で3ヵ月に一度通院中。

●(84歳・2人暮らし) 6年前まで商売をしていたが廃業した。現在妻の約月 8万円の年金と貯金を取り崩して生活し

てきたが、残り少ないこの先不安。心臓ペースメーカーを入れて身障手帳 1級所持、年金なし(本人)

●(86歳の母親とくらす男性) 年金生活で、1ヵ月 12万5000円、家賃月 62000円。母親は2月から入院中医療費が不安。

「道民の暮らしに役立つハンドブック 2024-2025」

最新の情報を紹介しています。 好評発売中

A5判 84頁 定価 200円(10冊以上送料無料)

料金は据え置きました。申し込みは北海道社保協まで

